

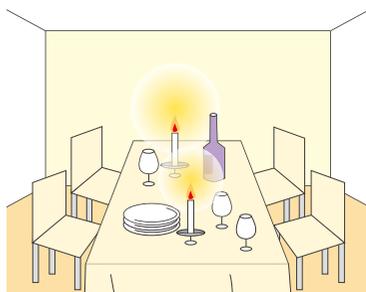
シーンにあった照明の使い方

秋の夜長、シーンごとに照明を変え、気分を高めて楽しく過ごしてみたいかたがでしょう。楽しく食事をする時には直接照明、小物を演出する時には白熱灯を用いるなど、照明をうまく使いこなせば、ひとつの部屋にいくつもの表情が生まれます。家具の模様替えは手間がかかるけれど、照明を変えるのは簡単!驚くほど気分が一新します。

食事をおいしく見せる時

白熱灯は赤みを強め、蛍光灯は緑を鮮やかに

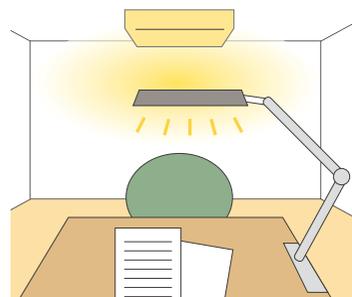
色や質感の再現性に優れた白熱灯は、あたたかな光色で肉料理などを美味しく見せます。それに比べ蛍光灯は、さわやかな清潔感がありサラダなどをみずみずしく見せるのが特徴です。好みの灯りを用い、ペンダントライト(位置は座った時の視線より少し高め)でテーブル全体を明るくしましょう。ムードを演出したい時は、キャンドルの灯りが最適です。



作業をする時

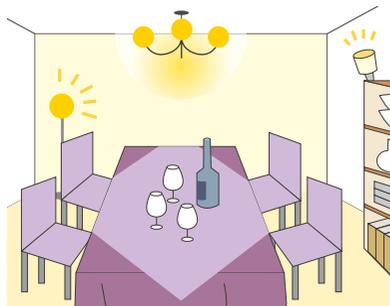
机の上だけでなく、室内全体を明るく

読書や仕事、勉強をする時は、デスクの上だけでなく、室内全体を明るくしましょう。室内はシーリングライトで明るくし、テーブルには、インバータ式の蛍光灯器具がちらつきが少なく目に優しいのでおすすめです。スタンドは、手元が陰にならないように利き腕と反対側に。光が直接目に入らないよう、高さや角度を調節します。



人を招待する時

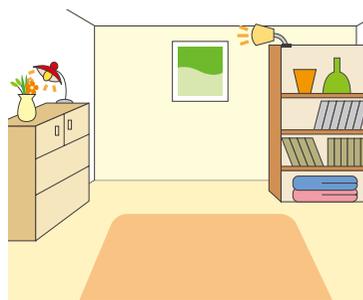
主照明と補助照明で、華やかな空間を演出



パーティーのような明るい空間を演出したい時は、主照明と補助照明を。主照明を、明るい空間にしたい時には蛍光灯を、少し落ち着いた空間にしたい時には白熱灯を使います。シャンテリアだと華やかさがアップ。補助照明は、部屋の隅にスタンドを置いて床を照らしたり、クリップライトで天井を照らすことで、明暗のアクセントになります。

小物の演出をする時

白熱灯のスタンドなどで、絵や小物に光を当てる



絵や置物、植物など小物を演出する時に効果的なのが、色や質感の再現性に優れた白熱灯がおすすめです。クリップライトの光を絵に当てたり、小物の後ろや横にスタンドを置いて光を当てると立体感が増し強調されます。クリップライトやスタンドのように手軽に動かすことができ、光の位置を変えられる照明器具があると便利です。

fromバックナンバー

176号「照明」、204号「上手なあかりの選び方」、250号「光ひとつで部屋の表情が変わる!照明で空間のコーディネート」
253号「快眠できる寝室づくり」もあわせてご覧ください。

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-juutaku.com>

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。